

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日



循環型社会を支えるエコファクトリー

株式
会社

MARUKO

発行日 2024年7月31日

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 事業概要	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8
事業所名		
代表者		
所在地		
資本金		
創業		
設立		
事業内容		
従業員数		
許認可一覧		
施設概要		
収集運搬		
産業廃棄物の中間処理方法と処理能力		
廃棄物処理工程		
処理費用		
事業規模		
保有車両		
資格者		
環境管理責任者		
3. 認証・登録範囲(2ページの事業概要の全ての事業)	9
4. 取組体制	10
5. 環境負荷削減のための目標値	11. 12
6. 環境経営計画及び計画に基づき実施した取組内容	13
7-1. 環境経営目標と実績評価	14
7-2. 実績評価と次年度の取り組み	15
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	16
9. 代表者による評価と見直し	17
別紙. 受託した産業廃棄物の処理量		

環境経営方針

<基本理念>

私たち、株式会社MARUKOは企業理念により、環境対策を進めてきましたが事業活動が環境に与える影響を認識し、『エコアクション21環境経営システム』を導入することにより、資源・エネルギーの有効活用、汚染防止、廃棄物の削減・適正処理及びリサイクルを継続的に推進します。

環境と調和した社会づくりを目指し、資源循環型社会の構築に貢献することで、美しい地球環境を未来ある次世代の手に委ねるべく、全社一丸となって変革に取り組んでいきます。

<行動指針>

1. 解体工事においては、環境に配慮した施工に努めます。
2. 受託した産業廃棄物については、3Rを推進し、適正な処理及び再資源化率向上に努めます。
3. 建設機械、車輛の燃料及び溶融炉用燃料使用量の削減と、廃棄物処理において二酸化炭素排出量を削減します。
4. 環境法規制等を遵守します。
5. 工場及び事務所の電気使用量の削減及び水道使用量の削減を図ります。
6. 教育訓練の実施により、環境に対する意識向上を図り、全社員に周知します。
7. 環境経営方針等を広く一般に公表します。

2008年 9月1日制定
2023年 8月5日改定

株式会社 MARUKO

代表取締役 鈴木 真理子

2. 事業概要

2024年7月31日作成

1	事業者名	株式会社 MARUKO		
2	代表者	代表取締役 鈴木 真理子		
3	事業所の所在地等	本社	住所	〒441-8068 愛知県豊橋市神ノ輪町20番地の2
			TEL	(0532)48-3718
			FAX	(0532)48-6528
			ホームページURL	https://www.maruko18.co.jp
			事業活動	管理業務
		弥栄工場	住所	〒441-3112 愛知県豊橋市東細谷町字東電田75番208
			TEL	(0532)41-8558
			FAX	(0532)41-0598
			事業活動	産業廃棄物中間処分(焼却)、産業廃棄物最終処分(管理型)
		原町リサイクルセンター	住所	〒441-3112 愛知県豊橋市東細谷町字一里山3番1
			TEL	(0532)41-4131
			FAX	(0532)41-4131
			事業活動	産業廃棄物中間処分(破碎・選別)
		富士見リサイクルセンター	住所	〒441-3126 愛知県豊橋市富士見町269番2
			TEL	(0532)74-7258
			FAX	(0532)74-7259
事業活動	産業廃棄物中間処分(破碎・選別、破碎、造粒固化、圧縮・梱包)			
名古屋支店	住所	〒461-0001 愛知県名古屋市中区東区泉1丁目1319		
		パークサイド1336ビル8F		
	TEL	(052)951-0660		
	FAX	(052)951-0661		
	事業活動	営業管理業務		
東京支店	住所	〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目11番5号		
		バイセントラルビル2F A室		
	TEL	(03)6228-7918		
	FAX	(03)6228-7148		
	事業活動	営業管理業務		
4	資本金	2,000万円		
5	創業年月	1982年11月		
6	設立年月日	1985年4月1日		
7	事業内容	産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、特別管理産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物最終処分場の維持管理、解体工事業		
8	従業員数	95 (本社70名・弥栄工場7名・原町リサイクルセンター3名・富士見リサイクルセンター10名 ・名古屋支店3名・東京支店2名) <2024年7月31日現在>		

9 許認可一覧

許可の種類	許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
土木工事業	国土交通大臣 許可	(特-1)第23452号	令和2年2月24日	令和7年2月23日
建築工事業	国土交通大臣 許可	(特-1)第23452号	令和2年2月24日	令和7年2月23日
とび・土工工事業	国土交通大臣 許可	(特-1)第23452号	令和2年2月24日	令和7年2月23日
解体工事業	国土交通大臣 許可	(特-1)第23452号	令和2年2月24日	令和7年2月23日
一般廃棄物収集運搬業	田原市	22 田 廃 第 268 号	令和4年11月19日	令和6年11月18日
	蒲郡市	蒲 清 第 121 号	令和4年11月27日	令和6年11月26日
	新城市	指 令 新 生 環 第 111 号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
	岡崎市	第 10238 号	令和5年5月11日	令和7年4月30日
	豊川市	5 豊 清 指 令 第 50-18 号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
産業廃棄物処分業	豊橋市	第09640001959号	令和3年12月13日	令和8年10月13日
特別管理産業廃棄物処分業	豊橋市	第09670001959号	令和3年12月13日	令和8年11月28日
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02300001959号	令和3年11月5日	令和8年10月13日
	豊橋市	第09610001959号	令和3年12月13日	令和8年10月13日
	静岡県	第02201001959号	令和5年3月16日	令和10年3月15日
	岐阜県	第02100001959号	令和3年2月5日	令和7年12月20日
	三重県	第02400001959号	令和4年6月6日	令和9年5月7日
	東京都	第1300001959号	令和2年6月21日	令和7年6月20日
	千葉県	第01200001959号	令和3年11月30日	令和8年9月14日
	神奈川県	第01405001959号	令和2年7月31日	令和7年5月27日
特別管理産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02350001959号	令和4年3月3日	令和9年1月26日
	静岡県	第02251001959号	令和6年6月24日	令和11年6月23日
	神奈川県	第01450001959号	令和2年10月21日	令和7年8月2日
産業廃棄物処分業 (移動式破砕)	愛知県	第02320001959号	令和3年12月8日	令和8年10月13日
	名古屋市	第64200001959号	令和4年9月15日	令和9年8月31日
	岡崎市	第10520001959号	令和3年7月19日	令和8年5月9日
	豊田市	第09020001959号	令和3年9月6日	令和8年8月3日
	一宮市	第13720001959号	令和4年1月11日	令和8年10月13日
	東京都	第01320001959号	令和6年1月27日	令和11年1月26日
	宮城県	第0420001959号	令和5年12月25日	令和10年12月24日
	郡山市	第08720001959号	令和2年6月25日	令和7年5月25日
	仙台市	第05422001959号	令和2年7月21日	令和7年7月5日
	福島県	第00720001959号	令和2年12月15日	令和7年10月4日
	福島市	第12420001959号	令和2年10月16日	令和7年10月4日
いわき市	第09420001959号	令和2年8月24日	令和7年7月29日	

10 施設概要

管理型最終処分場	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市東細谷町字東菟田75番18他1筆</p> <p>(2)埋立地の面積 2,686.25㎡(全体面積 4,511.17㎡)</p> <p>(3)埋立容量 16,620.84m³(残余容量 1534.04m³)</p> <p>(4)埋立処分する産業廃棄物 燃え殻、汚泥、廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、金属くず(自動車等破砕物を含む。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、鋸さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、ダスト類</p> <p>(5)処理方式 準好気性埋立</p> <p>(6)許可年月日 平成11年2月12日</p>
中間処理場 破砕	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市東細谷町字一里山3番1(原町リサイクルセンター)</p> <p>(2)処理品目 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、木くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く。)</p> <p>(3)処理方法 破砕(破砕機)</p> <p>(4)許可年月日 平成16年1月30日</p>
中間処理場 焼却	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市東細谷町字東菟田75番208(弥栄工場)</p> <p>(2)処理品目 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、動物のふん尿、特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)</p> <p>(3)処理方法 連続式ストーカー炉</p> <p>(4)許可年月日 平成17年11月18日</p>
中間処理場 破砕	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市東細谷町字一里山3番1(原町リサイクルセンター)</p> <p>(2)処理品目 ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、</p> <p>(3)処理方法 破砕(破砕機)</p> <p>(4)設置年月日 平成24年11月7日</p>

10 施設概要(続き)

中間処理場	破砕・選別、破砕	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市富士見町 269 番 2(富士見リサイクルセンター)</p> <p>(2)処理品目 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く。)</p> <p>(3)処理方法 破砕(破砕機)、選別破砕(風力選別機・ふるい機・破砕機) 圧縮・梱包、造粒固化(整粒ローラ)</p> <p>(4)許可年月日 平成28年5月20日</p>
中間処理場	造粒固化、圧縮・梱包	<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市富士見町 269 番 2(富士見リサイクルセンター)</p> <p>(2)処理品目 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く。)、汚泥(無機性汚泥に限る。)</p> <p>(3)処理方法 破砕(破砕機)、選別破砕(風力選別機・ふるい機・破砕機) 圧縮・梱包、造粒固化(整粒ローラ)</p> <p>(4)許可年月日 平成29年10月20日</p>
積替え、保管施設		<p>(1)設置場所 愛知県豊橋市東細谷町字東菟田75番168他2筆及び同町字菟田東90番1他1筆</p> <p>(2)保管する産業廃棄物の種類 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)) 以上8品目</p> <p>(3)面積 全体面積 1,644.39㎡ 保管面積 834.66㎡</p> <p>(4)保管上限 749.01㎡ (5)高さ 3.00m</p>

11 収集運搬

許可品目	<p>(1)積替え、保管を除く 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、銼さい、動物のふん尿ダスト類、特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物) 以上10品目</p> <p>(2)積替え、保管を含む 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)) 以上8品目</p>
------	--

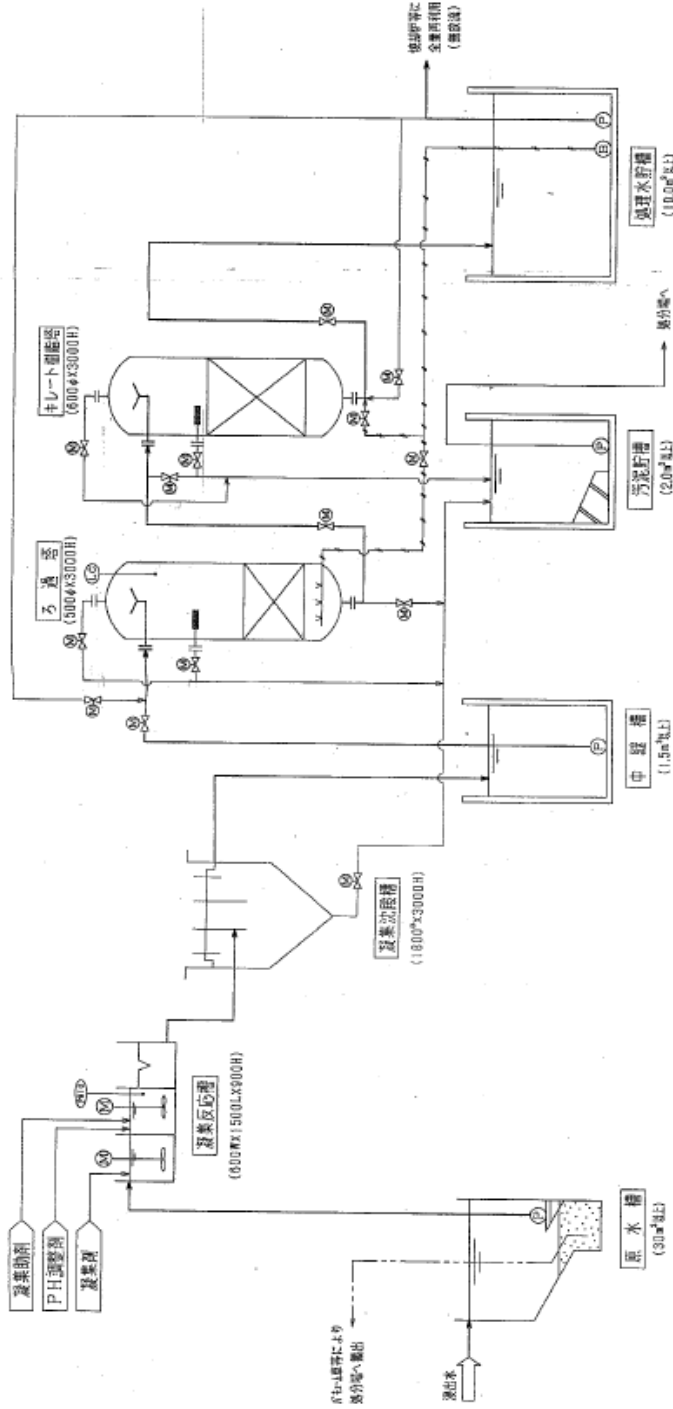
12 産業廃棄物の中間処理方法・処理能力

産業廃棄物	選別・破砕 (富士見リサイクルセンター)	焼却 (弥栄工場)	造粒固化※1 圧縮・梱包※2 (富士見リサイクルセンター)	破砕 (原町リサイクルセンター※3、富士見リサイクルセンター※4)
汚泥	—	9.77㎡/日	—	—
廃油	—	5.87㎡/日	—	—
廃酸	—	2.40㎡/日	—	—
廃アルカリ	—	2.40㎡/日	—	—
動植物性残さ	—	29.328t/日	—	—
ゴムくず	117.6t/日	19.896t/日	501.84t/日、429.96t/日※2	773.28t/日※4
動物のふん尿	—	16.104t/日	—	—
特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)	—	42.768t/日	—	—
廃プラスチック類	—	20.520t/日	—	—
紙くず	—	51.192t/日	—	—
木くず	—	47.52t/日	—	—
繊維くず	—	43.848t/日	—	—
汚泥	—	—	288.0t/日※1	—
廃プラスチック類	103.3t/日	—	333.84t/日、284.64t/日※2	32.8t/日※3、521.0t/日※4
紙くず	76.8t/日	—	351.12t/日、298.8t/日※2	446.16t/日※4
木くず	127.3t/日	—	530.64t/日、451.44t/日※2	32.8t/日※3、818.0t/日※4
繊維くず	57.6t/日	—	115.68t/日、98.4t/日※2	214.08t/日※4
金属くず	180.0t/日	—	—	1008.24t/日※4
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	148.8t/日	—	—	1188.0t/日※4、98.8t/日※4、195.36t/日
ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボードに限る)	—	—	—	4.0t/日※3
がれき類	175.3t/日	—	—	278.2t/日※3、1207.2t/日※4、84.4t/日、144.0t/日
がれき類(石膏ボードに限る)	—	—	—	4.0t/日※3

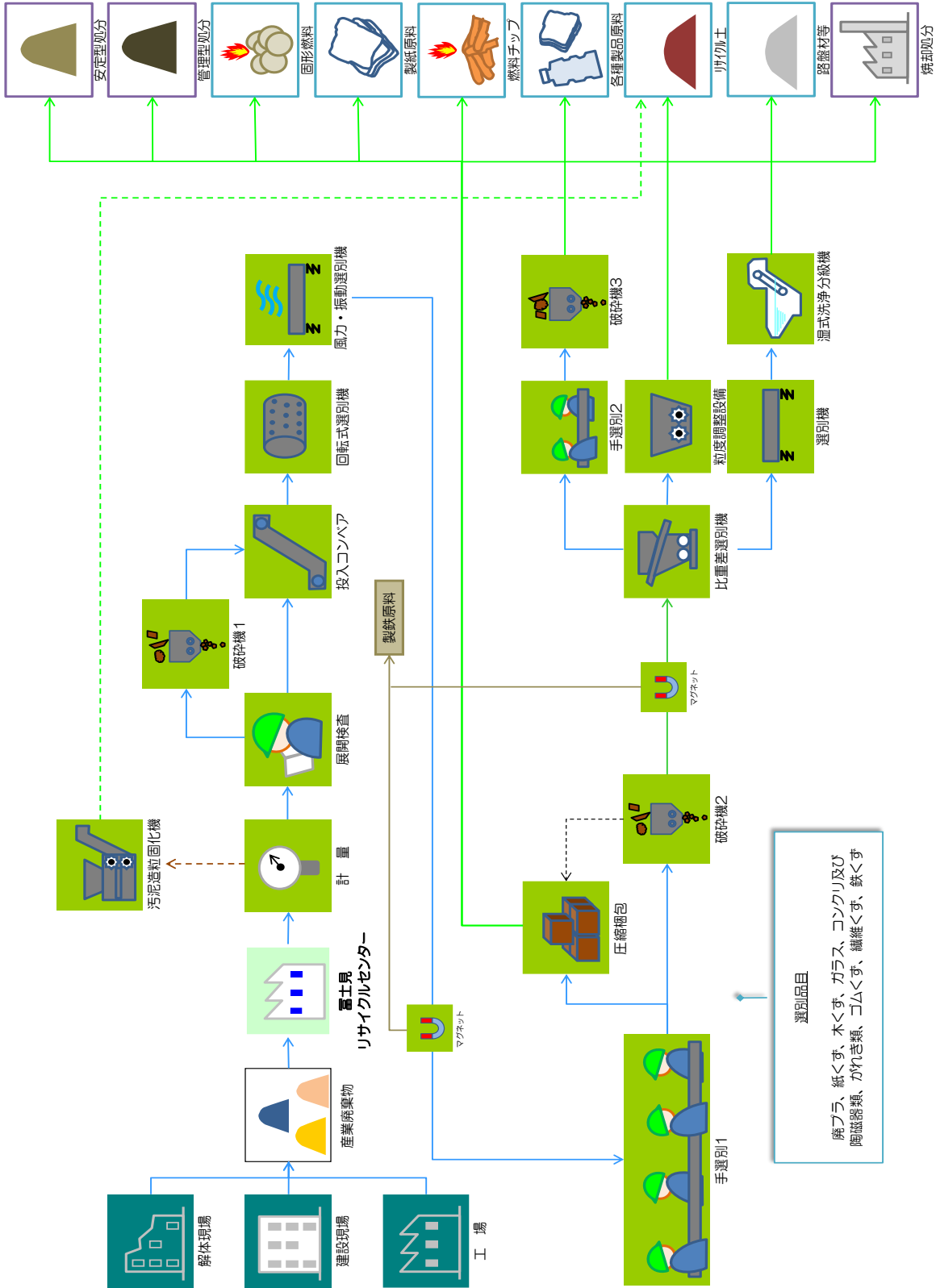
■原町リサイクルセンター(破碎)

- 破碎: 木くず→破碎機→チップ→燃料
- 破碎: 廃石膏ボード→破碎機→石膏粉→土壌固化材
- 破碎: コンクリートがら→破碎機→碎石→路盤材

■弥栄工場(管理型最終処分水処理工程)



■富士見リサイクルセンター(破碎・選別・造粒固化・選別破碎)



14 処理費用

別途、お見積が必要となります。

15 事業規模

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度					
売上高	百万円	5,460	2,919	3,329	2,777	2,979					
従業員	人	95	139	122	100	95					
延床面積	m ²	20,937	20,937	20,937	20,937	20,937					
合計収集運搬量	t	18,359	17,565	25,340	25,707	33,391					
一般廃棄物収集運搬量	t	0	0	0	0	0					
産業廃棄物収集運搬量	t	18,301	17,496	25,253	25,704	33,391					
特別管理産業廃棄物収集運搬量	t	58	68	87	2	0					
合計中間処理量	t	35,897	38,836	62,793	27,418	100,267					
産業廃棄物処分量	t	34,952	38,257	62,084	26,993	99,848					
特別管理産業廃棄物処分量	t	945	579	709	424	419					
最終処分量	t	0	0	0	0	0					
解体工事事件数	件	官庁	0	官庁	2	官庁	0	官庁	0	官庁	0
		民間	26	民間	36	民間	19	民間	41	民間	27
		官庁	0	官庁	0	官庁	0	官庁	0	官庁	0
		民間	127	民間	98	民間	52	民間	64	民間	59
	合計	153	136	71	105	86					

■産業廃棄物処理実績は別紙①に記す

16 保有車両

種類及び名称(作業車両)	バケット容量	台数	種類及び名称(運搬車両)	積載量	台数
建設機械	5.2m ³	2	脱着装置付コンテナ専用車	9.40t	4
建設機械	3.6m ³	6	ダンプ	9.30t	8
建設機械	3.6m ³	2	脱着装置付コンテナ専用車	3.40t	7
建設機械	1.6m ³	5	ダンプ	3.40t	6
建設機械	1.2m ³	8	ユニック	2.80t	1
建設機械	0.9m ³	1	医療廃棄物運搬車	2.00t	2
建設機械	0.7m ³	39	ダンプ	2.00t	3
建設機械	0.45m ³	21	ユニック	2.00t	1
建設機械	0.25m ³	9	清掃車	2.00t	1
建設機械	0.2m ³	1	高圧洗浄車	2.00t	1
建設機械	その他	8	散水車	3.40t	1
自走式回転破砕機		4	塵芥車	3.40t	1
自走式ふるい分け機		4	キャブオーバー		2
自走式スクリーン		1	パン		2
			パン(ハイエース)		4
			営業車		10

111 台

54 台

17 資格者	産業廃棄物焼却施設技術管理士	1名	一級建築士	5名
	破碎・リサイクル施設技術管理士	2名	一級土木施工管理技士	2名
	最終処分場技術管理士	1名	一級建築施工管理技士	4名
	危険物取扱者(乙)	2名	一級管工事施工管理技士	1名
	特定化学物質等作業主任者	3名	石綿作業主任者	7名
	職長教育	11名	エネルギー管理員	4名

18 環境管理責任者	責任者氏名	梅村 友喜		
	連絡先	TEL	0532-48-3718	
		FAX	0532-48-6528	
		e-mail	maruko@r6.dion.ne.jp	

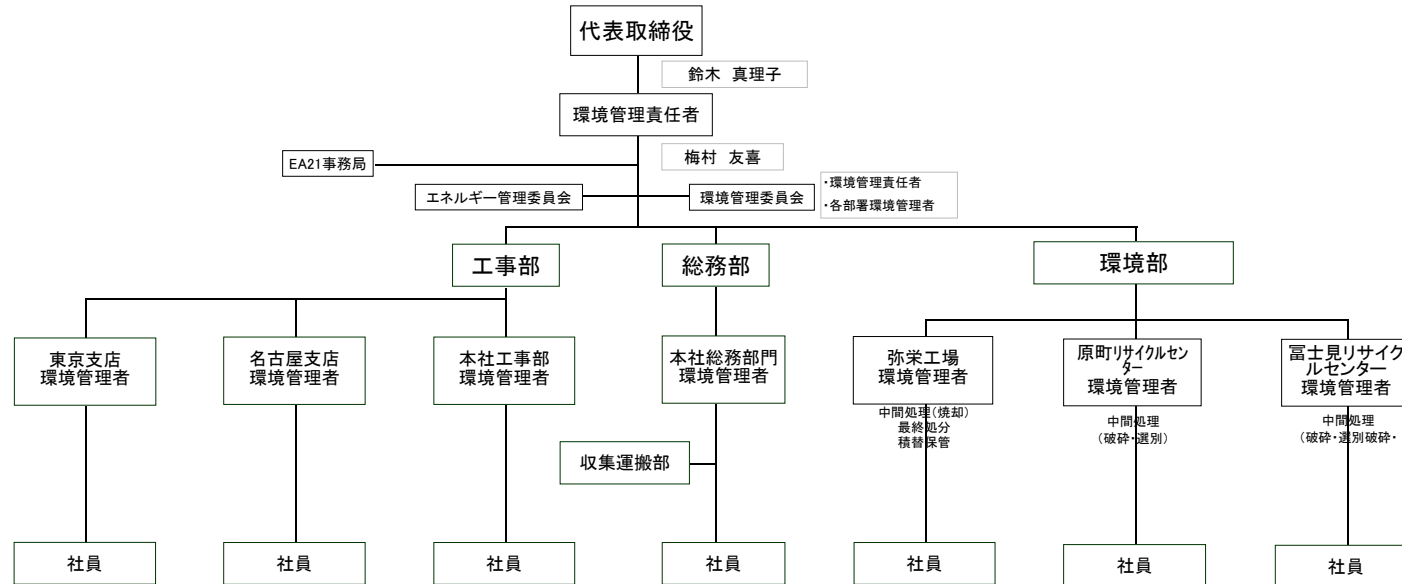
3. 認証・登録範囲

2ページの事業概要のすべての事業所(全組織、全活動)

作成者 梅村

4 エコアクション21取組体制(組織図)

2023. 3. 31現在



役割・責任

1. 代表取締役

- (1) 環境経営方針の設定
- (2) 環境管理責任者の任命を含めた組織体制の構築
- (3) エコアクション21のシステム構築・運用に必要な資源の準備
- (4) 代表者による全体の評価と見直し
- (5) 環境経営レポートの承認
- (6) 全社共通の文書の承認
- (7) 環境経営目標・環境経営計画の承認
- (8) 環境関連法規等のとりまとめ承認
- (9) その他

2. 環境管理責任者

- (1) エコアクション21のシステム構築及び運用に関する全責任
- (2) 環境管理委員会の統括
- (3) 緊急事態発生時の総指揮
- (4) 環境経営レポートの原案作成
- (5) 環境経営目標の原案作成
- (6) 環境経営計画の作成と全体的な運用確認
- (7) 教育・訓練の内容を環境管理者に指導
- (8) 全社共通文書の作成
- (9) 文書・記録の保管管理
- (10) 環境管理委員会の主催
- (11) 部署作成文書の承認
- (12) 環境関連法規等のとりまとめ及び遵守状況チェック
- (13) 是正処置及び予防処置の計画、実施の指示と結果の確認、フォロー
- (14) 「代表者による全体の評価と見直し」のための情報収集と代表者への提供

3. 環境管理委員会

- (1) エコアクション21システム構築上の各部署間の調整
- (2) エコアクション21運用上の重要事項の審議・調整・伝達
- (3) 環境経営計画の実行状況の確認
- (4) 社内共通文書の審議
- (5) 環境関連法規等の確認
- (6) その他、代表者及び環境管理責任者の指示事項の審議・実行など
- (7) 3ヶ月に1回の開催

4. エネルギー管理委員会

- (1) エネルギー使用の合理化に関する重要事項の審議・調整・伝達
- (2) エネルギー使用の合理化計画の実行状況の確認
- (3) エネルギー使用の合理化に関する文書のとりまとめ
- (4) 3ヶ月に1回の開催

5. 各環境管理者

- (1) 各部署の環境保全活動の統括
- (2) 各部署の環境経営計画の進捗管理
- (3) 是正処置・予防処置の計画・実施
(環境管理責任者の指示による)
- (4) 各部署特有の文書の作成及び記録の保管
- (5) 部署内教育・訓練の実施

6. EA21事務局

- (1) 電気、水道、燃料使用量等の集計
- (2) 社外からの環境情報の受付集計、必要部署への伝達

7. 部署特有の事項

- (1) 本社総務部
 - ① 社外からの環境情報の受付、必要部署への伝達、情報提供者への回答
 - ② 電気、水道、燃料使用量の管理
 - ③ 産業廃棄物収集運搬手配管理
 - ④ その他、エコアクション21関連事項で、社長及び環境責任者の指示事項
- (2) 名古屋支店
 - ① 社外からの環境情報の受付、必要部署への伝達、情報提供者への回答
 - ② 燃料使用量の管理
 - ③ その他、エコアクション21関連事項で、社長及び環境責任者の指示事項
- (3) 弥栄工場、原町リサイクルセンター、富士見リサイクルセンター
 - ① 廃棄物の適正処理
 - ② 電気、水道、燃料使用量の削減実行
 - ③ 原材料等購入先への要求事項の伝達
 - ④ その他、エコアクション21関連事項で、社長及び環境責任者の指示事項
- (4) 工事部
 - ① 燃料使用量の削減実行
 - ② 分別解体の推進
 - ③ その他、エコアクション21関連事項で、社長及び環境責任者の指示事項
- (5) 東京支店
 - ① 社外からの環境情報の受付、必要部署への伝達、情報提供者への回答
 - ② 電気使用量の管理
 - ③ その他、エコアクション21関連事項で、社長及び環境責任者の指示事項

5-1 環境負荷削減のための目標値(2021年度～2023年度)

環境負荷削減のための目標値

2020年8月31日(2024年8月26日更新)

	項目	単位	目標基準※1	目標		
				2021年度	2022年度	2023年度
工事部	全般	-	環境に配慮した施工に努める。			
環境部	全般	-	受託した産業廃棄物については、3Rを推進し、適正な処理及び再資源化率向上に努める。			
本社	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	58.5 (17,023.5)	58.2 (16,938.4)	57.9 (16,853.3)	57.6 (16,768.1)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	570.0 (165,870.0)	567.2 (165,040.7)	564.3 (164,211.3)	561.5 (163,382.0)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	58.0 (16,878.0)	57.7 (16,793.6)	57.4 (16,709.2)	57.1 (16,624.8)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
富士見リサイクルセンター	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	220.0 (64,020.0)	218.9 (63,699.9)	217.8 (63,379.8)	216.7 (63,059.7)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
工事部	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	2,460.0 (715,860.0)	2,447.7 (712,280.7)	2,435.4 (708,701.4)	2,423.1 (705,122.1)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	化石燃料エネルギー量<溶融炉重油使用量>	ℓ/千万円(売上高)	780.0 (226,980.0)	776.1 (225,845.1)	772.2 (224,710.2)	768.3 (223,575.3)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
本社	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	75.0 (21,825.0)	74.6 (21,715.9)	74.3 (21,606.8)	73.9 (21,497.6)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	6,400.0 (1,862,400.0)	6,368.0 (1,853,088.0)	6,336.0 (1,843,776.0)	6,304.0 (1,834,464.0)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	260.0 (75,660.0)	258.7 (75,281.7)	257.4 (74,903.4)	256.1 (74,525.1)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
富士見リサイクルセンター	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	3,000.0 (873,000.0)	2,985.0 (868,635.0)	2,970.0 (864,270.0)	2,955.0 (859,905.0)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
名古屋支店・東京支店	電力使用量の削減	-	賃貸の事務所でここに光熱費等が計測できないため、目標数値設定除外。ただし、節電に努める			
共通	CO2排出量の削減 ※2	kg-CO2	36,000,000	35,820,000.0	35,640,000.0	35,460,000.0
	3年間で1.5%削減	kg-CO2/千万円(売上高)	73,469	73,102	72,735	72,367.3
工事部	産業廃棄物リサイクル率 ※4	%	93.5%	94.0%	94.5%	95.0%
	3年間で1.5%向上			0.5%向上	1.0%向上	1.5%向上
本社	水資源投入量	m3	175	174	173	172
	3年間で1.5%削減			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	水資源投入量	m3	205	204	203	202
	3年間で1.5%削減			0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	水資源投入量	-	地下水くみ上げの為、投入量の把握ができない。ただし、節水に努める			
工事部	水資源投入量	-	お施主様支給としているため目標数値設定除外。ただし、節水に努める			
共通	グリーン購入	-	事務用品購入の際、再生品の購入に努める			

※1 目標基準は、2020年度の実績をベースに算出を行いました。

※2 電気のCO2換算係数は、0.459[kg-CO2/kWh] ※2023年度公表 中部電力

※3 化学物質は使用していません。

※4 リサイクル率=(再生資源化した廃棄物の量/現場から排出した廃棄物の量)×100

※5 2019年度より富士見リサイクルセンターを追加しています。2020年度より、目標値の設定を行いました。

※6 各項目の上部に原単位=実数/売上高、下部に括弧書きで実数を記載しています。売上高は共通で2020年

作成者 梅村

5-2 環境負荷削減のための目標値(2024年度～2026年度)

環境負荷削減のための目標値

令和6年8月31日

項目	単位	目標基準※1	目標			
			2024年度	2025年度	2026年度	
工事部	全般	-	環境に配慮した施工に努める。			
環境部	全般	-	受託した産業廃棄物については、3Rを推進し、適正な処理及び再資源化率向上に努める。			
本社	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	55.5 (16,150.5)	57.6 (16,768.1)	54.9 (15,989.0)	54.7 (15,908.2)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	558.5 (162,523.5)	561.5 (163,382.0)	552.9 (160,898.3)	550.1 (160,085.6)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	56.9 (16,557.9)	57.1 (16,624.8)	56.3 (16,392.3)	56.0 (16,309.5)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
富士見リサイクルセンター	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	215.7 (62,768.7)	216.7 (63,059.7)	213.5 (62,141.0)	212.5 (61,827.2)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
工事部	化石燃料エネルギー量	ℓ/千万円(売上高)	2,413.1 (702,212.1)	2,423.1 (705,122.1)	2,389.0 (695,190.0)	2,376.9 (691,678.9)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	化石燃料エネルギー量<溶融炉重油使用量>	ℓ/千万円(売上高)	764.3 (222,411.3)	768.3 (223,575.3)	756.7 (220,187.2)	752.8 (219,075.1)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
本社	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	72.5 (21,097.5)	73.9 (21,497.6)	71.8 (20,886.5)	71.4 (20,781.0)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	6,274.0 (1,825,734.0)	6,304.0 (1,834,464.0)	6,211.3 (1,807,476.7)	6,179.9 (1,798,348.0)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	255.1 (74,234.1)	256.1 (74,525.1)	252.5 (73,491.8)	251.3 (73,120.6)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
富士見リサイクルセンター	電力使用量の削減	kwh/千万円(売上高)	2,925.0 (851,175.0)	2,955.0 (859,905.0)	2,895.8 (842,663.3)	2,881.1 (838,407.4)
	3年間で1.5%削減(売上比,千万円)			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
名古屋支店・東京支店	電力使用量の削減	-	賃貸の事務所そこでここに光熱費等が計測できないため、目標数値設定除外。ただし、節電に努める			
共通	CO2排出量の削減 ※2	kg-CO2	35,400,000	35,223,000	35,046,000	34,869,000
	3年間で1.5%削減	kg-CO2/千万円(売上高)	72,245	72,367	71,522	71,161.2
工事部	産業廃棄物リサイクル率 ※4	%	94.5%	95.0%	94.5%	95.0%
	3年間で1.5%向上			1.5%向上	1.0%向上	1.5%向上
本社	水資源投入量	m3	171	172	169	168
	3年間で1.5%削減			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
弥栄工場	水資源投入量	m3	201	202	199	198
	3年間で1.5%削減			1.5%削減	1.0%削減	1.5%削減
原町リサイクルセンター	水資源投入量	-	地下水くみ上げの為、投入量の把握ができない。ただし、節水に努める			
工事部	水資源投入量	-	お施主様支給としているため目標数値設定除外。ただし、節水に努める			
共通	グリーン購入	-	事務用品購入の際、再生品の購入に努める			

※1 目標基準は、2023年度の実績をベースに算出を行いました。

※2 電気のCO2換算係数は、0.459[kg-CO2/kWh] ※2023年度公表 中部電力

※3 化学物質は使用していません。

※4 リサイクル率=(再生資源化した廃棄物の量/現場から排出した廃棄物の量)×100

※5 2019年度より富士見リサイクルセンターを追加しています。2020年度より、目標値の設定を行いました。

※6 各項目の上部に原単位=実数/売上高、下部に括弧書きで実数を記載しています。売上高は共通で2020年実績の291千万円を用いています。

作成者 梅村

6. 環境経営計画及び計画に基づき実施した取組内容

2024年4月

取組内容	責任者 (担当者)	日程(2023年度)												取組内容	評価				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1. 環境に配慮した施工に努める	梅村	←													→	排ガス規制、騒音対策の建設機械を使用	実行できた		
2. 受託した産業廃棄物について、3Rを推進し、適正な処理及び再資源化率向上に努める	梅村	←														→	収集・処分について、処理基準を遵守するよう配慮	実行できた	
3. 二酸化炭素排出量																			
(1)化石燃料使用量の削減																			
①アイドリングストップ	梅村	←															→	アイドリングストップを常にONIにして走行	実行できた
②急発進、急加速の禁止	梅村	←															→	朝礼時にドライバーへエコドライブの実践について教育	実行できた
③車両整備点検(タイヤ空気圧、オイル等)による省燃費運転の推進	梅村	←															→	乗車時に車両点検表による点検を必ず行う	実行できた
④適切なルート選定による効率的な運転の推進	梅村	←															→	新規の現場がある際には、適切なルート図を事前にドライバーへ配布	実行できた
⑤効率的な廃棄物の焼却および溶融処理	宮端	←															→	従業員への制御システムの周知、投入前の破砕等の前処理を徹底	実行できた
⑥道具の点検・整備	松倉	←															→	日常点検および月次点検を実施し、故障発見時には必ず報告させ速やかに修理対応	実行できた
⑦設備・重機・車両の点検・整備	松倉	←															→	日常点検および月次点検を実施し、故障発見時には必ず報告させ速やかに修理対応	実行できた
(2)電力使用量の削減																			
①不要照明のカット	梅村	←															→	朝礼時に呼びかけるとともに、業務終了時には消灯のチェックを必ず行う	実行できた
②空調は夏27度±1℃、冬20度±1℃で室温管理を行い、過剰な冷暖房を抑制	梅村				←			→				←				→		温度設定を各事業所に掲示し、日々の温度チェック表を記入	実行できた
4. 廃棄物処分量の削減 リサイクル率の向上																			
工事部門は分別解体の徹底によるリサイクル促進	梅村	←															→	朝礼時の作業員への呼びかけ、安全パトロール時の指導の徹底	実行できた
5. 水資源投入量の削減																			
①こまめな節水を励行	梅村	←															→	節水を呼び掛ける掲示を行う	実行できた
②適切な量の散水実施	梅村	←															→	解体工事では施工計画書を作成し、適切な散水計画を事前に策定する	実行できた
6. 環境負荷の少ない製品等の購入(グリーン購入)の推進																			
グリーン購入	梅村	←															→	間伐材使用のバリケードを使用	実行できた

7-1. 環境経営目標と実績評価

■2023年度環境経営目標設定のねらい■

当社のサイトとして、本社(事務管理部門)、弥栄工場(中間処理施設・焼却、最終処分場)、原町リサイクルセンター(中間処理施設・リサイクル)、富士見リサイクルセンター(中間処理施設・破碎選別など)、名古屋支店(事務管理部門)、東京支店(事務管理部門)、工事部(解体工事部門)が環境関連のサイトとなっており、化石燃料使用量、電力使用量、水使用量、産業廃棄物リサイクル率、紙使用量を環境負荷に係る項目とし、各サイトごとに環境経営目標を設定しました。

化石燃料使用量、電力使用量、水使用量、CO2排出量については、2023年度の売上に対する使用量、又は排出量から目標基準を設定しました。その数値より1.5%削減/年を目標として設定しました。

工事部の産業廃棄物リサイクル率については2023年度のリサイクル率(リサイクル率=(再生資源化した廃棄物の量/現場から排出した廃棄物の量)×100)の実績より目標基準を設定しました。その数値より1.5%向上を目指し、数値を設定しました。

紙使用量については、各サイトにおいて、数値目標は設定せず、裏紙使用の励行、電子書類の活用など積極的に行うこととしました。

2023年度売上高：297千万円

工事部全般	環境に配慮した施工をすることができた			
環境部全般	3Rを推進し、適正な処理をすることができた			
化石燃料使用量	目標基準	目標(2023年度)	実績	評価
本社	58.5 (17,023.5L)	57.6 (16,768.1L)	0.13 (39.00L)	◎
弥栄工場	570.0 (165,870.0L)	561.5 (163,382.0L)	621.54 (184,599L)	△
原町リサイクルセンター	58.0 (16,878.0L)	57.1 (16,624.8L)	78.09 (23,193.01L)	△
富士見リサイクルセンター	220.0 (64,020.0L)	216.7 (63,059.7L)	182.79 (54,288.61L)	◎
工事部	2,460.0 (715,860.0L)	2,423.1 (705,122.1L)	1,702.88 (505,754.42L)	◎
熔融炉重油	780.0 (226,980.0L)	768.3 (223,575.3L)	0.00 (0.00L)	◎
電力使用量	目標基準	目標(2023年度)	実績	評価
本社	75.0 (21,825.0kWh)	73.9 (21,497.6kWh)	76.52 (22,727.00kWh)	△
弥栄工場	6,400.0 (1,862,400kWh)	6,304.0 (1,834,464kWh)	4,901 (1,455,582kWh)	◎
原町リサイクルセンター	260.0 (75,660.0kWh)	256.1 (74,525.1kWh)	310.1 (92,098.0kWh)	△
富士見リサイクルセンター	3,000.0 (873,000.0kWh)	2,955.0 (859,905kWh)	3,149.0 (935,259kWh)	△
名古屋支店	-	-	-	-
東京支店	-	-	-	-
CO2排出量の削減	目標基準	目標(2023年度)	実績	評価
全社	36,000,000kg-CO2 (73,469)	35,460,000kg-CO2 (72,367.3)	12,139,005kg-CO2 (53,362)	◎
産業廃棄物リサイクル率	目標基準	目標(2023年度)	実績	評価
工事部	94.5%	95.0%	94.5%	◎
水使用量の削減	目標基準	目標(2023年度)	実績	評価
本社	175m3	172m3	151m3	◎
弥栄工場	205m3	202m3	165m3	◎

※化学物質は使用していません。電気のCO2換算係数は、0.459[kg-CO2/kWh] ※R5年度 中部電力

評価：達成◎・改善したが未達成△・未達成×

※産廃と建設の二酸化炭素排出量を合計した値(1,803,377+1,407,808)に、産廃焼却処理分の排出量(8,927,820)を足しています。

※各項目の上部に原単位=実数/売上高、下部に括弧書きで実数を記載しています。

目標基準、目標(2023年度)の売上高は共通で2023年実績の297千万円を用いています。

7-2. 実績評価と次年度の取り組み

■2023年度の評価■

1. 化石燃料使用量については、弥栄工場、原町リサイクルセンターで目標を達成することができませんでした。目標を達成できなかった理由としては、受注増により重機・産廃収集運搬車両の稼働が増えたことが挙げられます。今後は一層、アイドリングストップ、不要時のエンジンoffを徹底し、化石燃料の不必要な使用を防止していきます。
2. 電力使用量については、本社、原町リサイクルセンター、富士見リサイクルセンターで目標を達成することができませんでした。目標を達成できなかった理由としては、業務量および産廃受入量の増加が挙げられます。富士見リサイクルセンターにおいては、電氣量を管理する設備を導入致しましたので、今後は一層、節電に取り組み、不要な電氣の使用を防止します。
3. CO2排出量の削減については、目標を達成しました。今後も、アイドリングストップ、不要時のエンジンoffを徹底し、化石燃料の不必要な使用を防止していきます。
4. 工事部門における産業廃棄物リサイクル率は、目標達成となりました。適切な分別を行うことにより、産業廃棄物リサイクル率が向上しました。今後も、より分別の徹底を行い、産業廃棄物リサイクル率の向上に努めます。
5. 紙使用量については、本社は昨年より減少しました。弥栄工場、原町リサイクルセンター、富士見リサイクルセンターでは管理表を電子書類に変更したり、名古屋支店、東京支店では裏紙の使用を励行し、電子書類の活用により、削減努力をしました。今後も、紙の使用量の数値把握は行き、不要な紙の使用をなくすように努めていきます。
6. 水使用量は、全サイトで目的達成できました。今後も本社では、水洗の閉めモレの確認の徹底を行います。弥栄工場では、粉じん等の飛散防止のために散水を行っているため、大幅な使用量の削減は難しいですが、より効率的な散水を行い、更なる節水に努めます。

昨今の厳しい経済状況の中でしたが、積極的な営業活動により、2023年度の売上高は前年度を上回りました。今後も営業活動により一層の、受注量の回復を目指します。化石燃料使用量、電力使用量については引き続き全サイトで節減に努めましたが、売上高に対する原単位としては目標を達成できなかったサイトがありました。今後もいっそう全職員の意識向上と技術向上に全力を尽くし、環境への負荷の低減により持続可能な社会の発展に貢献していく所存です。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

梅村 2024.8.25

(1) 環境関連法規一覧

当社に適用される環境関連法の主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
環境関連法規を遵守していることを確認しました。

主な適用法規	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守
愛知県 産業廃棄物適正処理指導要綱	遵守
愛知県 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	遵守
浄化槽法	遵守
下水道法	遵守
フロン排出抑制法	遵守
グリーン購入法	遵守
ダイオキシン類対策特別措置法	遵守
水質汚濁防止法	遵守
大気汚染防止法	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	遵守
騒音規制法	遵守
振動規制法	遵守
愛知県 県民の生活環境の保全等に関する条例(振動・騒音関係)	遵守
愛知県 県民の生活環境の保全等に関する条例(省エネ関係)	遵守
愛知県 県民の生活環境の保全等に関する条例(アイドリングストップ関係)	遵守
豊橋市 火災予防条例	遵守
消防法	遵守
道路交通法	遵守
建設リサイクル法	遵守
家電リサイクル法	期間内に 排出実績なし
自動車リサイクル法	遵守
道路運送車両法	遵守
省エネ法	遵守
オフロード法	遵守
PRTR法	遵守
環境協定書(事業場周辺該当地域と)	遵守
毒劇法	遵守
自動車NOx・PM法	遵守

(2) 違反・訴訟等

関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による評価と見直し

2024年4月26日 代表取締役 鈴木 真理子

代表者による全体の評価と見直し事項

2008年度より、環境マネジメントシステムの運用を開始し、目標を設定、その目標の達成のための環境活動項目を定め、取り組んできました。活動を通して、全従業員へ環境へ配慮した行動をとることの大切さとともに、活動がしっかり定着してきました。

2023年度の活動結果から、環境経営システムのPDCAは、回っていると評価します。今後も、より確実な行動をとることにより良い結果になることを期待しています。

そして、従業員へは、この環境に配慮する行動を行うことで、無駄な経費などを削減することができ、結果、効率のよい会社運営ができることをより理解してもらうように呼びかけていきます。

今期は、一部のサイトで目標を達成することができませんでした。今後もいっそう効率的な業務運営により目標達成に向けた努力を続けていきます。

会社全体で、業務が均一化、効率化できるようにするためには、従業員同士の協力が欠かせないと考えています。また、他人事ではなく、仲間の作業にも気をかけるような意識付けが、会社の規模が大きくなってきた現状で、再度必要だと考えています。

地球環境に配慮する行動とともに、自分たちの仲間にも配慮ができるように、今後も従業員へ、日ごろから訴えかけるようにしていきます。

代表者による各項目の見直し事項

【環境経営目標及び環境経営計画、実施体制と結果評価について】

・電気使用量については、本社、富士見リサイクルセンター、原町リサイクルセンターで目標を達成することができませんでした。今後は一層、使用時間を削減できるように、業務の効率化、均一化を進めていきます。

・化石燃料使用量については、弥栄工場、原町リサイクルセンターで目標を達成することができませんでした。今後は一層、余計な化石燃料を使用しないように、アイドリングストップ、不要時のエンジンOFFを徹底していきます。また、設備、重機、車両の不具合等による不要な化石燃料の使用を防ぐため、自社にて整備・メンテナンスも引き続き行っていくように指示していきます。

・CO2排出量の削減については、達成することができました。今後も、CO2排出量の把握を行い余計なCO2の排出を防ぐように指示していきます。

・電子書類の使用を進めていますが、提出書類など紙での作成が必要な書類が一定数あり、またその量は、受注工事数、産廃の委託量の増加、提出書類の増加に伴い増加します。そのため、今後も、裏紙使用の励行、電子書類使用の励行を行い、数量把握の下、活動に対する意識付けの強化をするように指示していきます。

・水使用量については、今年度も、各サイト目標を達成することができました。今後も、今までの取り組みを継続するようにします。

・環境経営目標、計画並びに実施体制については見直す必要は無いと判断しました。
・環境経営方針については解体工事と受託した廃棄物に関する環境配慮内容を2023年8月に改定しました。

別紙. 受託した産業廃棄物の処理量 2023年度 (2023年 4月 ~ 2024年 3月)

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
木くず	t	3,949.65
がれき類	t	16,729.24
廃プラ	t	3,777.34
感染性	t	0.00
その他	t	8,935.60
合計	t	33,391.83

(ii) 中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理	木くず	破碎・焼却	t	4,575.13
	紙くず	焼却・破碎	t	5,270.04
	廃プラ	破碎・焼却	t	20,822.63
	感染性	焼却	t	208.32
	がれき類	破碎・選別	t	31,363.46
	その他	破碎・造粒固化・選別破碎	t	42,810.28
	その他	焼却	t	460.20
	再資源化等	木くず	破碎リサイクル・焼却後熔融	t
	コンクリートガラ	破碎後路盤材化	t	21,619.68
	廃石膏ボード	破碎	t	565.32
	廃プラ	破碎リサイクル・焼却後熔融	t	30,406.15
	その他	破碎リサイクル・焼却後熔融	t	90,434.58
	小計		t	148,808.93
	合計		t	105,510.06

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
ガラス・陶磁器くず	管理型最終処分	t	0.00
		t	
		t	
合計		t	

(iv) 中間処理後の産業廃棄物 (最終処分・中間処理・再資源化等)

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	燃えがら	管理型最終処分[委託]	t	718.20
		ばいじん	管理型最終処分[委託]	t	25.20
		がれき類	管理型最終処分[委託]	t	725.72
		汚泥	管理型最終処分[委託]	t	
		ガラス・陶磁器くず	管理型最終処分[委託]	t	414.35
		石綿含有産業廃棄物	管理型最終処分[委託]	t	
		混合	管理型最終処分[委託]	t	105.04
		廃プラ	管理型最終処分[委託]	t	
		木くず	管理型最終処分[委託]	t	107.25
		小計		t	2,095.76
	(再資源化等) 中間処理	溶融スラグ	骨材として再生利用[売却]	t	0.00
コンクリートガラ		路盤材として再利用[売却]	t		
木くず		燃料として再利用[売却]	t		
廃石膏ボード		原料として再利用[売却]	t		
廃プラ		原料として再利用[売却]	t		
建設汚泥		土工材料として再利用[売却]	t		
小計			t		
合計		t	2,095.76		

※一部理論値を用いた箇所があるため、(ii)中間処理量-再資源化量 によって得られる値と、(iv)中間処理後の産業廃棄物 の値は一致しません。